

ふくい街角景気速報

(令和4年1月分)

調査期間 令和4年1月10日～24日 (回答率：90%)

概況

景気の現状判断DIは35.3となり、前月と比べ23.3ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは41.7となり、前月と比べ2.5ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 35.3 (前月比 ▲23.3)

○家計動向関連では、前月に比べ 31.0 ポイント低下した。

○企業動向関連では、前月に比べ 11.2 ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 27.7 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

○オミクロン株の急激な感染拡大で県外客は減り、地元客も出控えている。(観光関係)

○半導体不足や世界的なコロナ感染拡大による輸送遅延、原材料費高騰等で、引き続き厳しい状況が続く。(化学・プラスチック関連)

■景気の先行き判断DI 41.7 (前月比 ▲2.5)

○家計動向関連では、前月に比べ 1.6 ポイント上昇した。

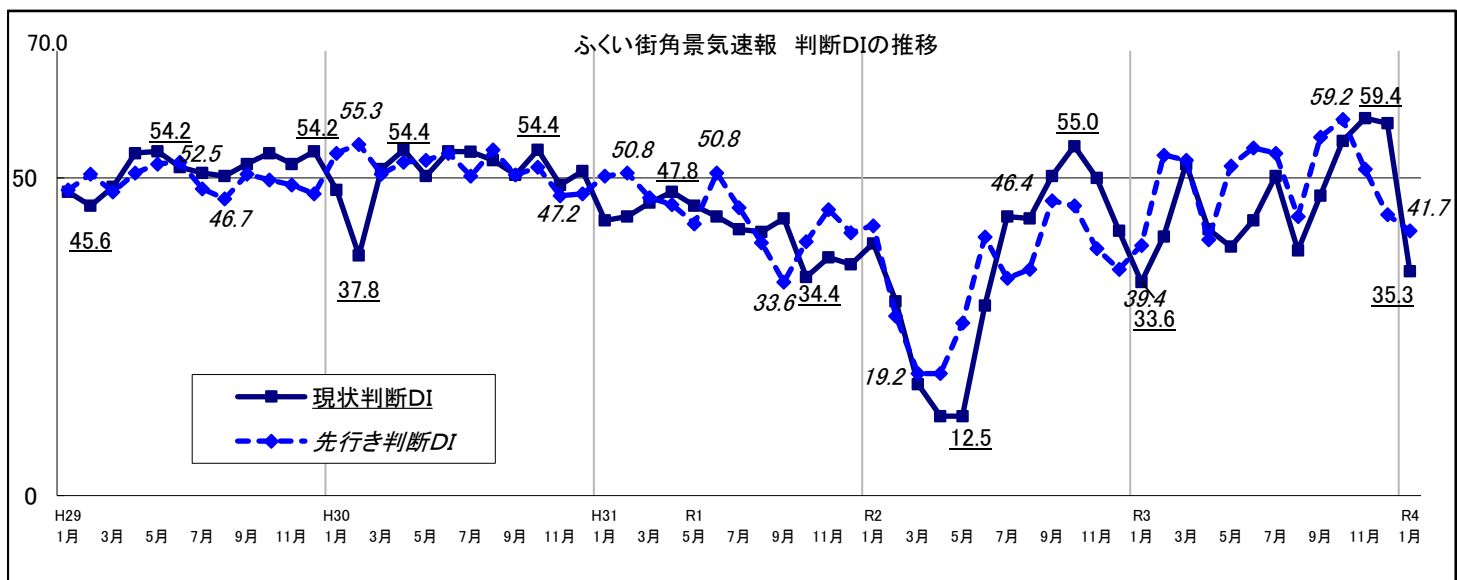
○企業動向関連では、前月に比べ 8.7 ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 0.2 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

○オミクロン株の終息時期など、外況による影響が不透明ではあるが、消費者マインドの低下による節約志向は継続するのではないかとと思われる。(スーパー)

○今後も対面型サービスを中心に厳しい状況が続くと思われる。また、原材料価格高騰と物流費の上昇により、生活必需品の値上げの波が広がり、更なる家計の負担も懸念される。(銀行等金融関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R3 8	9	10	11	12	R4 1	(前月差)
合計		38.6	47.2	55.8	59.4	58.6	35.3	▲23.3
家計動向関連		31.4	39.2	51.1	61.0	57.1	26.1	▲31.0
小売		31.5	40.5	47.7	56.9	56.5	28.9	▲27.6
飲食		25.0	50.0	62.5	62.5	58.3	12.5	▲45.8
サービス		33.3	33.3	59.1	70.8	58.3	20.8	▲37.5
企業動向関連		46.9	55.7	58.3	55.0	56.1	44.9	▲11.2
製造業		46.9	54.0	58.3	57.0	56.3	45.2	▲11.1
非製造業		46.9	60.0	58.3	50.0	55.6	43.8	▲11.8
雇用関連		45.5	52.3	68.2	66.7	72.7	45.0	▲27.7

○回答別構成比

	年 月	R3 8	9	10	11	12	R4 1	(前月差)
良くなっている		1.1%	1.1%	5.6%	10.0%	8.9%	3.3%	▲5.6
やや良くなっている		12.2%	20.0%	34.4%	35.6%	33.3%	7.8%	▲25.5
変わらない		37.8%	52.2%	41.1%	41.1%	43.3%	35.6%	▲7.7
やや悪くなっている		37.8%	20.0%	15.6%	8.9%	12.2%	33.3%	+21.1
悪くなっている		11.1%	6.7%	3.3%	4.4%	2.2%	20.0%	+17.8

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R3 8	9	10	11	12	R4 1	(前月差)
合計		43.9	56.4	59.2	51.4	44.2	41.7	▲2.5
家計動向関連		41.0	54.0	59.2	50.0	42.4	44.0	+1.6
小売		38.7	50.0	55.3	48.3	40.3	41.4	+1.1
飲食		43.8	58.3	75.0	37.5	33.3	25.0	▲8.3
サービス		45.8	62.5	68.2	56.3	50.0	54.2	+4.2
企業動向関連		46.9	57.1	56.1	52.1	45.5	36.8	▲8.7
製造業		46.9	57.0	54.2	52.0	43.8	37.5	▲6.3
非製造業		46.9	57.5	61.1	52.5	50.0	34.4	▲15.6
雇用関連		47.7	63.6	68.2	54.2	47.7	47.5	▲0.2

○回答別構成比

	年 月	R3 8	9	10	11	12	R4 1	(前月差)
良くなる		2.2%	2.2%	6.7%	1.1%	0.0%	1.1%	+1.1
やや良くなる		13.3%	44.4%	42.2%	33.3%	14.4%	12.2%	▲2.2
変わらない		47.8%	36.7%	36.7%	41.1%	54.4%	48.9%	▲5.5
やや悪くなる		31.1%	10.0%	10.0%	18.9%	24.4%	27.8%	+3.4
悪くなる		5.6%	6.7%	4.4%	5.6%	6.7%	10.0%	+3.3

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野 企業 動向	地区	業種	理由	
②やや良くなっている	企業 動向	福井	繊維関連	受注量が回復している。	
		福井	運輸関連	売上高が少しずつ回復してきており、コロナ前の水準に近づきつつある。	
	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	金属製品製造業や宿泊業、飲食サービス業では求人数が増加しているため。	
③変わらない	家計 動向	福井	一般小売店	コロナが収まらない状況が続き、来店客数・売上額とも伸び悩んでいる。	
		嶺南	百貨店、SC等	一時持ち直していた旅行など外出にも自粛ムードが再度広がり、また、感染者増に伴う影響が人員面でも表れている。	
	企業 動向	坂井	繊維関連	好転してきている部分もあるが、原料等の価格改正、円安、コロナ感染拡大等のマイナスもあるため。	
		丹南	眼鏡関連	またコロナ禍の拡大が始まり、小売店の流れが悪くなっている。	
		丹南	電気機械関連	受注は減少しているが受注残は高水準であり、今後の顧客要求に応えるために在庫積み増しの必要があるため、工場はフル稼働を続けている。	
		福井	化学・プラスチック 関連	半導体不足や世界的なコロナ感染拡大による輸送遅延、原材料費高騰等で、引き続き厳しい状況が続く。	
		嶺南	商社	コロナにより観光・飲食は引き続き厳しい。	
	雇用	福井	銀行等金融関連	企業活動は活発化してきたが、第6波の影響もあり、宿泊業・小売業・飲食業などを中心に厳しい状況が続いている。	
		福井	学校就職担当者	就職の状況も落ち着いており、景気自体の変動はないと感じている。	
		福井	就職情報誌	一時期、広告出稿が戻ってきたが、コロナの再拡大によるイベントなどの中止や飲食店への影響があり、広告出稿が減ってきている。	
		福井	学校就職担当者	就職の状況も落ち着いており、景気自体の変動はないと感じている。	
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	商店街	オミクロン株が増加し、消費者は徐々に警戒心が出てきて、買い上げ、来場に影響が出てきている。	
		坂井	一般小売店	雪やオミクロン拡大による影響で人が動かなくなっているように思う。	
		坂井	スーパー	年末年始までは客数は若干上向きであったが、その後コロナ第6波が本格化し、鈍ってきている。	
		嶺南	コンビニエンスストア	コロナ第6波のため、県外客の流動ボリュームが減少した。	
		嶺南	飲食関連	年末年始の雪や、オミクロン株の感染拡大、ガソリン高騰などが絡み合って、悪い方へ作用しているように感じる。	
		坂井	観光関係	オミクロン株の急激な感染拡大で県外客は減り、地元客も出控えている。	
	企業 動向	奥越	繊維関連	自動車関連事業が半導体不足や途上国からの部品遅れによる減産継続により、自社でも生産調整がある。	
		嶺南	食料品製造関連	コロナの6波で悪影響を受けている。	
	⑤悪くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	1月半ばから飲食店や物販店等の消費の動きが止まった。
			福井	コンビニエンスストア	コロナの再蔓延にともない、月末に向かってどんどん悪化し、来店客数が激減した。
福井			観光関係	正月が明けてから新型コロナウイルスの感染拡大により人流が無くなり、多くのキャンセルやイベント中止の影響を大きく受けている。	
企業 動向		福井	商社	原油高による石油製品の値上げ転嫁が不足し、コロナにより来店客も減少している。	
		丹南	食料品製造関連	新型コロナの拡大が広がり、観光部門の売上げが60%減となり先行きが見えない。	

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	福井	コンビニエンスストア	コロナ蔓延も落ち着き、消費マインドも回復する。
②やや良くなる	家計動向	坂井	一般小売店	3回目のコロナワクチン接種者が多くなり、コロナの感染者は少なくなり、人が動くようになる。
		丹南	百貨店、SC等	新型コロナの第6波が終息の傾向に入り、一時停止、延期となっている政府や自治体の景気対策が再開されることで、年末年始ぐらいの景気までは回復するのではないか。
		坂井	観光関係	オミクロン株による第6波のピークが過ぎて落ち着き、3回目のワクチン接種も進み、GoToトラベルのような経済喚起策が再開されると、多少の回復が期待できるのではないか。
		福井	観光関係	しばらくは需要は停滞すると思うが、ワクチン接種などが進めば、人流・旅行需要は徐々に回復すると思う。
③変わらない	家計動向	嶺南	労働相談員	第6波のオミクロン株も、2～3か月後には収まり、コロナ収束後の日常に戻ってくるのではないかとと思う。
		福井	商店街	コロナが落ち着くまで低迷が続くと思う。イベントの中止や人の動きの制限が出るのと更に厳しい。
		福井	一般小売店	季節が暖かくなり、例年ならば購買意欲が上がる時期になるが、コロナの感染状況が不透明なため、大きな変化はないと予想している。
		福井	スーパー	オミクロン株の終息時期など、外況による影響が不透明ではあるが、消費者マインドの低下による節約志向は継続するのではないかとと思われる。
	企業動向	福井	サービス業関連	新型コロナの第6波がいつ下火になるかが見通せない中、景気は大きく変わらないと思われる。
		丹南	電気機械関連	半導体不足の長期化やコロナウイルスの感染状況等、先行きが不透明なため。
	④やや悪くなる	家計動向	福井	化学・プラスチック関連
嶺南			ジョブカフェ担当者	製造業、建設業、介護等の分野においては、一定数の雇用ニーズが続くとみられる。
福井			一般小売店	第6波の悪影響がしばらくの間は続くと思われる。ワクチン接種の3回目が進むまで、経済活動の安心感が生まれられないのではないか。
企業動向		嶺南	一般小売店	世界的に物価が高くなっていくのでその影響で景気回復はないと思う。
		福井	百貨店、SC等	オミクロン株が春先にピークアウトしていれば、外出の機会も増え、買い物需要も上がると考えられる。
		福井	繊維関連	オミクロンが流行している関係で、少し上向きになってきている状況が元に戻る可能性を感じているため。
		丹南	繊維関連	コロナ感染拡大と商品値上げによる消費マインドの低下が懸念される。
		福井	一般機械関連	海上輸送費の高騰、原材料の価格上昇と仕入遅延などから、期日通りに出荷することが厳しくなっている。
		福井	商社	ウクライナ問題などで今後も原油価格の値上がりが予想され、コロナも2月末までは一層感染が増加して県外からの来客も少なくなることが予想されるため。
		嶺南	食料品製造関連	コロナの第6波で影響で観光客も減り、土産需要が減る。
雇用	丹南	労働相談員	しばらくは行動が慎重になるとと思われる。	
⑤悪くなる	福井	銀行等金融関連	今後も対面型サービスを中心に厳しい状況が続くと思われる。また、原材料価格高騰と物流費の上昇により、生活必需品の値上げの波が広がり、更なる家計の負担も懸念される。	
	嶺南	商店街	石油、生活必需品が軒並み値上がりしていく中での消費活動はますます冷えていく。	
	丹南	食料品製造関連	オミクロンの影響で 訪問販売が充分出来ない。	
		丹南	食料品製造関連	コロナにより観光部門の先行きが見えないため。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)